

平成21年度 「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」の使途について

平成21年度 寄附金合計（平成22年2月4日現在）

5,725千円

寄附者 228件

皆様からいただいた寄附金は、一旦「オホーツクの流氷と自然を守る基金」に積み立て、皆様の指定した目的に合った形で下記の事業に使わせていただきましたのでお知らせいたします。

※「オホーツクの流氷と自然を守る寄附金」は、寄附をいただいた翌年度の事業に使わせていただきます。

（平成21年度にいただいた寄附金は、平成22年度の事業に使わせていただきました。）

平成22年度 オホーツクの流氷と自然を守る基金充当事業の内訳

1. アザラシの保護活動などオホーツク海の海洋環境に関する事業（延131名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
海洋観光推進経費 「オホーツクとっかりセンター」では、傷ついたアザラシや親からはぐれた幼獣の保護を行っており、この施設の指定管理経費に充当させていただきました。	15,602千円	1,310千円	<ul style="list-style-type: none">・2頭の赤ちゃんアザラシを保護しました。衰弱していましたが、現在は元気を取り戻しています。・H23になりますが、北大北方生物圏フィールド科学センターの協力により衛星発信機をつけてアザラシをリリースし、回遊経路を追跡研究中です。

2. 地球環境の変化などに対応する環境保全啓発活動に関する事業（延68名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
北方圏国際シンポジウム開催事業 紋別市が昭和61年より毎年開催している「北方圏国際シンポジウム」は、『オホーツク海と流氷』をテーマに国内外の研究者による氷海・海洋研究の発信や情報交換の場として定着しています。この開催経費に充当させていただきました。	5,705千円	995千円	<p>H23. 2. 20～H23. 2. 25開催 2,280名参加（内海外から17名参加）</p> <ul style="list-style-type: none">・特別講演「オホーツクの海がつくる北海道の気候」気象予報士 菅井貴子・学術シンポジウム 基調講演：海水研究のフロンティアをめざして 榎本浩之（北見工業大学）・氷海の民シンポジウム - 先史・古代人と自然の関わり・ワークショップ：オホーツク海における油汚染について・ふるさとの自然を学ぶ：中高生による紋別の自然の研究発表等

3. 森林の適正な育成管理に関する事業（延51名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
緑の循環森林認証推進事業 紋別市は、適正な管理が行われていることで認証される「森林認証制度」の普及を進めています。認証された市有林のPRや、民有林の森林認証取得活動事業に充当させていただきました。	3,233千円	1,240千円	<ul style="list-style-type: none">・紋別市全森林面積65,804haのうち54,462.40haが認証森林面積となりました。認証率83%・認証材を利用して家を建築しました。 ～H23よりおためし居住が始まります。

平成21年度 「オホーツクの流水と自然を守る寄附金」の使途について

4. 湖沼、河川の適正な管理に関する事業（延29名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
公害対策事務経費 紋別市は、オホーツク海に注ぐ渚滑川や、海に隣接するコムケ湖といった水資源が豊富です。大切な水資源を守るための水質検査分析経費に充当させていただきました。	1,418千円	535千円	・市内6河川（7地点）、2湖沼（3地点）で水質検査を年2回～4回行いました。いずれも特に問題のある項目はありませんでした。

5. その他、市長が必要と認める事業（延32名）

事業名	事業費	基金充当額	主な内容
休日夜間急病センター運営管理事業 紋別市が抱える喫緊の課題は、逼迫する地域医療体制の確保です。休日夜間急病センターの運営経費に充当させていただきました。	158,245千円	1,645千円	・不在でした常勤医を2名採用するなど、医師の確保対策に取り組み、より多くの開設日を確保することができました。